

新春経済講演会を開催

藤井聡 京大大学院教授

～公共事業の重要性を強調～

今年の「新春経済講演会」は1月30日商工観光センターで、約250人の皆さんに聴講いただき開催しました。

現在の日本経済は、景気回復の中であって、特に株価では昨年10月には初めて16連騰を記録するなど、資産バブル崩壊後26年ぶりの高水準となったほか、数々の経済指標も好調な数値で推移しているとされています。しかし、舞鶴市では、まだまだ、その実感は乏しいのが現実です。

一方で、将来へ向けては「人口減少や少子高齢化、大都市への集中が続く中で、本当に大丈夫なのか」、「米国や中国経済などの今後の行方は」など、様々な疑問や不安を抱えています。

今回講師をお願いした藤井聡氏は、安倍政権の



藤井氏の分かりやすい話にはユーモアも加わり“アツという間”の1時間半でした(1月30日商工観光センター)



熱弁を振るう藤井氏

内閣官房参与として国策に携わりながら、大学で教鞭をとられるとともに、テレビにも出演されるなど、今を読み解く時に最高の講師でした。

藤井氏は、今の日本経済について「この20年間は世界唯一マイナス成長で、現状も成長

していない。来年の消費増税によって、更なる低迷へと陥る懸念がある。成長に向けては、財政政策と公共事業が重要である」とされました。そして、舞鶴市については、「京都縦貫道の全通は良い効果をもたらしている。しかし、成長を最も期待できるのは、山陰新幹線が舞鶴市を通過すること。民間投資は拡大し、人口も増加するだろう」などと、激励を込めた力強い言葉がありました。

参加者からは「舞鶴の将来に希望が持てた」との声や、「政策が経済に与える影響の大きさ、実態を見誤らないことの重要性等、認識を新たに出来大変良かった」との感想など、高評価もいただきました。

“春のまいづる
就職フェア”
を開催



2月24日(土)

午後1時～4時

商工観光センター

2月24日(土)午後1時から「春のまいづる就職フェア」を商工観光センターで、舞鶴市内49事業所の参加を得て開催します。本年度の「就職フェア」としては、昨年8月と10月に続く3回目です。今回は、4月入社の新卒者に加え、新卒以外のある程度社会人経験を積んだ人が多いものと見込まれています。

今後、採用活動を検討されている事業所の皆様は、ぜひ一度会場へお越しください。

詳しくは、舞鶴市企業立地・雇用促進課 (Tel 66-1021)、または舞鶴商工会議所 (Tel 62-4600) へどうぞ。なお舞鶴商工会議所のホームページ (<http://www.maizuru.or.jp/>) でも確認できます。